

個別施策評価調書

部長	次長

主管部	保健医療部	対象年度	平成27年度
関係部	福祉部		—
	—		—


基本施策	健康・福祉サービスを強化する				
個別施策	1 高齢者支援体制の整備				
個別施策の方向	高齢者が安心していきいきと暮らすまちを目指して、健幸長寿日本一を目指した取組など、健康づくりや安心して暮らすための環境づくりに取り組む。				
これまでの取組概要	高齢者の健康づくり事業として、ICTを活用して健康データを見える化した「ICT高齢者いきいき健康アップ事業」、「出前健康教室等事業」等を実施してきた。また、住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、「介護支援ボランティア事業」「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業」等も実施してきた。 この取り組みのうち「出前健康教室等事業」の平成27年度延べ参加者数は、前年度から8,549人増えて39,747人となった。				
市民意識調査満足度	H27	23.8%	H29	参考値（第3次総合計画市民意識調査結果） 対象施策名：高齢者福祉の充実	27.4%

平成27年度決算及び事業費内訳										(単位：千円)		
H27年度決算	事業費	96,815	人件費	49,590	事業コスト	146,405						
事業費内訳	国庫支出金	6,475	県支出金	64,703	地方債	0	その他特財	12,732	一般財源	12,905		

個別施策の代表指標名	指標種別	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
ICT高齢者いきいき健康アップ事業参加者数（人）	活動結果指標	目標値	335	400	500	500	500	500
		実績	323	354	—	—	—	—
介護支援ボランティア登録者数（人）	活動結果指標	目標値	100	120	140	—	—	—
		実績	112	149	—	—	—	—
ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置台数（台）	成果指標	目標値	310	280	285	290	290	290
		実績	241	228	—	—	—	—

個別施策の総合評価		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
自己評価	<p>「いきいき運動教室」・「つくばウォークの日」などの介護予防教室や「シニア健康教室」・「元気はつらつ運動教室」などの出前体操教室等事業は、参加者が増加しており、高齢者への介護予防事業の推進を強化することができた。しかし、「ICT高齢者いきいき健康アップ事業」の参加者を見てみると平成27年度新規参加者90名に対して前年度からの増加数は31名である。このことから高齢者支援体制について、継続できる事業環境を検討していく必要がある。</p>	

個別事業調書

個別施策	1 高齢者支援体制の整備														
個別事業名	1-1	ICT高齢者いきいき健康アップ事業				担当課	高齢福祉課								
事業概要	日常的に健康データ（歩数等）を記録し、そのデータを健康管理システムで管理することで健康データの「見える化」に取り組み、行動変容を促進する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
	事業費(千円)	5,194		4,624		7,381		4,982		4,982		4,982			
事業指標	指標名	参加者数（人）	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
			目標値	335		400		500		500		500		500	
			実績	323		354		—		—		—		—	
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度新規参加者：90名 吉沼交流センターへ健康ステーション（タブレット及びデータ読み取り機）を設置した。（健康ステーション：全8か所） 7月に新規参加者70名を対象に体力測定を実施した。（50名参加） 9月に追加募集の新規参加者20名及び7月の体力測定に参加できなかった新規参加者を対象に体力測定を実施した。（25名参加） 2月に全参加者354名を対象に体力測定を行った。（169名参加） 														
H27年度決算	事業費(千円)	4,624		人件費(千円)	2,972		事業コスト(千円)	7,596		正職員従事割合(人)		0.40			
											時間外勤務(時間)		0.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	1,156		県支出金	578		地方債	0		その他特財	1,872		一般財源	1,018	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ○課題 新規参加者の確保及び長期的に継続できる環境づくりが必要。 ○改善目標 ・毎年度新規参加者を100名募集する。 ・事業への参加意欲を継続してもらうための環境づくりを行う。 														

個別事業調書

個別施策	1 高齢者支援体制の整備									
個別事業名	1-2	介護予防事業				担当課	いきいきプラザ			
事業概要	<p>介護予防のため以下の事業を実施する。 いきいき運動教室：40歳から74歳までの方で、介護保険の認定を受けていない方の運動機能を高める。 運動普及推進員活動：運動普及推進員として地域に密着した活動を行う。 つくばウォークの日：手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動議づけをする。</p>									
工程表	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	工程	運用								
	事業費(千円)	4,914	4,393	5,550	5,550	5,550	5,550			
事業指標	指標名	参加人数（いきいき運動教室、運動普及推進員活動、つくばウォークの日）（人）	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
			目標値	—	—	—	—	—	—	
			実績	7,192	8,728	—	—	—	—	
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> いきいき運動教室 5コース 41回 参加者実数195名 述べ参加者数5,607名 運動普及推進員活動 249回 延1,024人 運動普及推進員養成講座 修了者27人 延170人 つくばウォークの日 実施回数：13回 延参加者数：2,097人 									
H27年度決算	事業費(千円)	4,393	人件費(千円)	12,851	事業コスト(千円)	17,244	正職員従事割合(人)			1.46
								時間外勤務(時間)		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	2,391	一般財源	2,002
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された									
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している									
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している									
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施									
課題と改善目標	<p>いきいき運動教室、つくばウォークの日に若いうちから健康づくりに取り組むことができるよう、若い世代への事業啓発をする。 運動普及推進員の役割や活動を明確にし、活動意欲を高める。事業拡大に伴い活動回数が増加しているため、2年に1回の養成を今年度も行い会員を増やす。</p>									

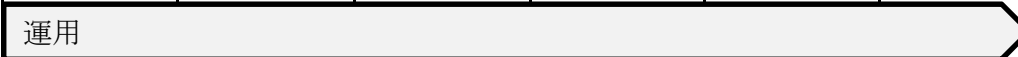
個別事業調書

個別施策	1 高齢者支援体制の整備														
個別事業名	1-3	出前体操教室等事業				担当課	いきいきプラザ								
事業概要	ストレッチ体操, リズム体操, ボール運動, 筋力トレーニング等を行うほか, 健康チェックや健康講話等を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程			見直し											
	事業費(千円)	13,774		18,105		20,466		20,466		20,466		20,466			
事業指標	指標名	各教室の延べ参加者数(人)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	31,168				39,717	—	—	—	—	—			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・出前健康・体操教室 体験会の開催 区長会・民生委員会での広報を実施した。延べ参加者数35,957人 新たに多世代交流出前教室を実施した。 ・シニア健康教室 3会場×8回 計24回実施 参加者実人数 118人(うち86人新規者) 延べ参加者数790人 ・元気はつらつ運動教室 3コース 参加実人数120人 延べ参加者数2,970人 														
H27年度決算	事業費(千円)	18,105		人件費(千円)	18,101		事業コスト(千円)	36,206		正職員従事割合(人)		2.23			
										時間外勤務(時間)		575.00			
事業費内訳(千円)	国庫支出金	4,526		県支出金	2,263		地方債	0		その他特財	7,333		一般財源	3,983	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	地域住民の主体的な介護予防の活動ができるよう推進していく。														

個別事業調書

個別施策	1 高齢者支援体制の整備												
個別事業名	1-4	介護支援ボランティア事業				担当課	地域包括支援課						
事業概要	市内に住所を有する65歳以上（つくば市第一号被保険者）で要支援・要介護認定を受けていない方が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、当該登録者からの申出によりポイントに応じた交付金を交付する。												
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	工程	制度構築											
		運用											
	事業費(千円)	2,044		1,299		2,069		1,993		1,993		1,993	
事業指標	指標名	介護支援ボランティア登録者数(人)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
						目標値	100	120	140	—	—	—	
						実績	112	149	—	—	—	—	
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援ボランティア実活動者数：70名 介護支援ボランティア登録者数：149名 介護支援ボランティア受入機関：市内33施設 介護支援ボランティア活動延べ時間：3,608時間 												
H27年度決算	事業費(千円)	1,299	人件費(千円)	810	事業コスト(千円)	2,109	正職員従事割合(人)			0.10			
							時間外勤務(時間)			25.00			
事業費内訳(千円)	国庫支出金	324	県支出金	162	地方債	0	その他特財	519	一般財源	294			
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された												
事業の有効性	中：適切な成果が得られている												
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている												
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施												
課題と改善目標	<p>高齢者がより身近な場所で活動できるよう、継続して受入施設の拡大を図る。</p> <p>ボランティアの実活動者及び登録者の増加を目指して、広報やホームページ、チラシ、ポスター等で制度の周知を行う。</p> <p>ボランティアへのアンケートの内容を見直し、介護予防の評価ができるものにする。</p>												

個別事業調書

個別施策	1 高齢者支援体制の整備														
個別事業名	1-5	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業				担当課	高齢福祉課								
事業概要	ひとり暮らしの高齢者等にペンダント型無線発信機等を貸与することにより、急病その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、当該高齢者の不安の解消や生活の安全を確保する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
		事業費(千円)	5,420		6,121		8,945		8,470		8,470		8,470		
事業指標	指標名	設置台数(台)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	310		280		285		290		290				
		実績	241		228		—		—		—				
活動実績	<p>定期点検により機器の劣化情報を確認し、9月以降に劣化が確認された144台については交換を行った。</p> <p>3月末現在利用者数228名。</p> <p>月1度のお伺い電話により利用者の状況の把握を行った。また本人からの救急搬送の要請等は、状況に応じて協力員や親族と連絡をとりながら、救急車の手配等最善と思われる対応を行った。</p>														
H27年度決算	事業費(千円)	6,121		人件費(千円)	3,714		事業コスト(千円)	9,835		正職員従事割合(人)		0.50			
											時間外勤務(時間)		0.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	617		一般財源	5,504	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	<p>○課題 ひとり暮らし高齢者に対するサービスのため、死亡や入所による利用中止の際、自宅に設置した機械を回収することが困難になるケースがあり、対応方法を検討していく必要がある。</p> <p>○改善目標 委託業者から利用者の入院、入所等の情報が入った場合は、協力員や親族と連絡を取り対応する。</p>														

個別事業調書

個別施策	1 高齢者支援体制の整備																	
個別事業名	1-6	地域密着型サービス整備費等補助事業				担当課	高齢福祉課											
事業概要	つくば市高齢者福祉計画の推進にあたり、公募による事業者選定を行う。また、地域密着型サービス拠点整備を促進するため、国又は県の施設整備補助金を活用する。																	
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31						
	工程			事業者公募		施設整備・指定		開設・運営										
	事業費(千円)	281,975		62,273		141,839		0		0		0						
事業指標	指標名	地域密着型介護老人福祉施設の定員数(人)				年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
						目標値	87		116		116		145		—		—	
						実績	87		116		—		—		—		—	
活動実績	豊里地区にて地域密着型特別養護老人ホームを1施設整備するため、事業者の公募を実施した。事業者の選定にあたり、地域密着型サービス等整備事業者選定委員会を3回開催し、書類審査及び現地確認のうえ、1事業者選定した。																	
H27年度決算	事業費(千円)	62,273		人件費(千円)	11,142		事業コスト(千円)	73,415		正職員従事割合(人)			1.50					
								時間外勤務(時間)			0.00							
事業費内訳(千円)	国庫支出金	469		県支出金	61,700		地方債	0		その他特財	0		一般財源	104				
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された																	
事業の有効性	中：適切な成果が得られている																	
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている																	
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施																	
課題と改善目標	<p>○課題 第6期つくば市高齢者福祉計画に基づく地域密着型サービスの整備にあたり、計画的に施設を整備するための事業者支援について検討が必要。</p> <p>○改善目標 計画に基づき平成29年度から施設を開設できるよう、工事の進捗管理を行うとともに、事業者にも補助金を交付し施設整備を支援する。</p>																	